

平成 30 年度事業報告概要

平成 30(2018)年度は、本協会が創立 60 周年の年であり「創立 60 周年記念事業」の企画推進を行いました。しかし近年稀に見る自然災害の多い年であり、6 月の「大阪府北部地震」の影響で近畿地方を中心とした交通網の遮断、また「平成 30 年 7 月豪雨」、猛暑日が 10 日以上を記録、複数回の台風の上陸・影響など伊賀への入り込みに大きく影響する事態が続き、伊賀流忍者博物館の入館にも大きな影響を受ける年となりました。しかしながら将来に向けてのプラス要因として、東名阪自動車道における四日市 JCT 付近を中心とした慢性的な渋滞が伊賀への観光にとってマイナスとなっていました。平成 31 年 3 月に緩和され、今後の観光客の動きに好影響となることが予想されます。

国土交通省中部地方整備局が中部地方へ観光客を回遊させる取り組みの「歴まちカードラリー」や、三重県の「みえ食旅パスポート」の発給を軸にしたキャンペーン（平成 30 年度が最終年）が開催され、伊賀市においても多くの観光客の受け入れを行いました。また、三重県主導による広域連携事業「忍者パック」や「トラベルマート」などの旅行事業社との商談会へ積極的に参加したことで、外国人観光客の入込が好調に推移するなか、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた外国人観光客の誘致活動・計画を進めました。

受け入れの取り組みとしては、会員や支部の情報収集と連携強化を図り地域特性を活かした観光振興事業を行いました。また本協会を含めた県内 5 つの観光協会で実施の「城郭めぐりスタンプラリー」「城のご朱印」も好評です。また伊賀地域回遊の「忍者ゆかりのご朱印巡り」や「忍者道場修行ちよい食べ歩き」といったまちなか回遊事業や「謎解きミステリー」「伊賀流忍術指南道場」などの体験メニュー、「伊賀牛」を使ったメニュー「伊賀牛炙り丼キャンペーン」をスタートさせ観光客受入態勢の充実を図りました。そして「忍者の日」「日本忍者協議会」「伊賀流手裏剣打選手権大会」などを通じた全国各地の忍者ゆかりの地、忍者をテーマにしたグループ・団体等と連携した発信事業を行い、伊賀の優位性をアピールしました。

国が進める「DMO※1」は観光庁が中心となって全国的に推進し、本協会は平成 29 年 11 月 28 日「日本版 DMO 候補法人」の認定を受け、本年度は本登録に向け伊賀市への来訪者に対してスマホアンケートによるマーケティングを 1 年かけて実施し、約 3,000 件のデータと約 1,700 件のメールアドレス(顧客リスト)を取得しました。このデータを活用し戦略・目標の策定を行い実情に応じた観光地域づくりの取り組みを推進しました。

令和 3(2021)年三重県で開催のとこわか国体においてデモンストレーション競技に「手裏剣打ち」が「伊賀流手裏剣打ちスポーツ」として認められ伊賀での開催に向けた準備を進め、また三重県伊賀市において永年にわたり伊賀流忍者を切り口に、観光振興事業を展開し、クールジャパンコンテンツである「NINJA」の国際ブランド化に努めるとともに、広域での連携など地域を巻き込んだ取組みを進め、観光を通じた地域活性化に寄与したことが認められ「平成 30 年度中部運輸局優良事業者等局長表彰」を受賞し、60 年間伊賀地域で行ってきた観光振興に対しての取り組みが認められた年でもありました。

(※1) 地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人という定義

平成30年度事業報告書

1 観光資源の開発及び保存

- | | |
|-------------------------|----|
| (1) 日本忍者協議会への参画（会長が副会長） | 通年 |
| (2) 忍者(忍術)を生かした誘客事業 | 通年 |

総括

日本忍者協議会への参画により「忍者の日(2/22)キャンペーン」など全国的な忍者の取り組みが行えた。忍者をテーマにした回遊事業「伊賀忍者ゆかりの神社仏閣 ご朱印巡り」を実施し、ご朱印巡りのファン層の獲得や今までとは異なった切り口での情報発信を行うなど忍者を生かした事業を実施し誘客につなげる事ができた。

2 観光客の誘致促進

- | | | |
|--|---|---------|
| (1) 宣伝印刷物の作成配布 | | |
| ア 伊賀上野観光情報紙「いがぐり」66号（夏号） | 70,000部 | 30年 6月 |
| イ 伊賀上野観光情報紙「いがぐり」67号（秋号） | 70,000部 | 30年 9月 |
| ウ 伊賀上野観光情報紙「いがぐり」68号（冬号） | 70,000部 | 30年 12月 |
| エ 伊賀上野観光情報紙「いがぐり」69号（春号） | 70,000部 | 31年 3月 |
| オ 観光案内用市内地図 | 10,000枚 | 30年 10月 |
| カ 観光案内用市内地図 | 10,000部 | 31年 2月 |
| (2) インターネットによる観光情報の発信 | | |
| ア 「伊賀流忍者博物館」ホームページ | http://iganinja.jp/ | 通年 |
| イ 「伊賀上野観光協会」ホームページ | http://www.igaueno.net/ | 通年 |
| ウ 「忍者流忍者博物館」facebookページ | https://www.facebook.com/ | 通年 |
| エ 「伊賀上野観光協会」facebookページ | https://www.facebook.com/igaueno22/ | 通年 |
| オ 「忍者流忍者博物館」Instagramページ | https://www.instagram.com/igaryu_ninja_museum_official/ | 通年 |
| カ 伊賀ポータルによる観光情報や動画の配信 | http://www.igaportal.co.jp/ | 通年 |
| キ 「IGA Official Travel Guide」 | http://www.iga-travel.jp/ | 通年 |
| (3) 観光キャンペーンの実施 | | |
| ア 伊賀上野のお薦めお昼ご飯キャンペーン | 【資料1 10ページ】 | 通年 |
| イ 三館割引共通券(伊賀流忍者博物館・だんじり会館・伊賀上野城のセット入館券) | | 通年 |
| ウ 伊賀牛炙り丼キャンペーン | | 通年 |
| (4) 報道・メディア関係等の取材協力、企業・団体への協力 | | |
| ア 観光PR用画像データの収集・貸出 | | 通年 |
| イ 報道関係に対する情報発信及び受入 | | 通年 |
| (5) 外客の開発 | 【資料7 16ページ】 | |
| ア 三重県外国人観光客誘致促進協議会に参画 | | 通年 |
| イ 海外プレス及び観光エージェントへの宣伝活動 | | 通年 |
| (ア) 忍者パック（広域連携パッケージツアー商品）受入 | | 通年 |
| (イ) フランスセールスコール参加【フランス】 | | 30年 6月 |
| (ウ) アメリカAGTファムトリップ | | 30年 6月 |
| (エ) シンガポール旅行AGTファム | | 30年 6月 |
| (オ) ベトナム旅行博「FEEL JAPAN 2018」三重ブース参加【ベトナム】 | | 30年 7月 |
| (カ) 在阪イタリア総領事受入 | | 30年 7月 |
| (キ) 台湾メディアファムトリップ | | 30年 8月 |
| (ク) 上海旅行AGTファムトリップ | | 30年 9月 |
| (ケ) ロシアAGTファムトリップ | | 30年 9月 |
| (コ) マレーシアMATTAフェア2018・出展【マレーシア】 | | 30年 9月 |
| (サ) 2018 Visit Japan Travel Trade Meet・JNTO主催参加【マレーシア】 | | 30年 9月 |
| (シ) VISIT JAPAN トラベルマート2018・出展【東京ビッグサイト】 | | 30年 9月 |
| (ス) ロシアメディアファムトリップ | | 30年 10月 |
| (セ) 中国(上海・南京)旅行AGTファムトリップ | | 30年 10月 |
| (ソ) タイ現地旅行者向けセミナー・商談会【タイ】 | | 30年 10月 |

(ク) マカオAGTファムトリップ	30年 11月
(ケ) タイメディアファムトリップ	30年 11月
(コ) フランスインフルエンサーファムトリップ(YouTuber)	30年 11月
(ク) フランス旅行会社ファムトリップ	30年 11月
(ト) 台湾アンバサダー受入	30年 11月
(チ) VISIT JAPAN トラベルマート2018・三重県と共同出展【神戸】	30年 11月
(ニ) ベトナム・マレーシアメディアファムトリップ	30年 11月
(ス) フランス旅行会社ファムトリップ	30年 11月
(セ) フィリピン旅行AGTファムトリップ	30年 11月
(ノ) インドネシアブロガーファムトリップ	30年 12月
(ハ) 上海旅行AGT(ゴルフ)ファムトリップ	30年 12月
(ヒ) 香港新聞社(アップルデیلیー社)取材受入	30年 12月
(フ) タイYouTuber受入	30年 12月
(ヘ) 韓国ブロガー受入	31年 3月
(ホ) マレーシアMATTAフェア2019・出展【マレーシア】	31年 3月
(マ) 台湾メディアファムトリップ	31年 3月
ウ 忍者秘密結社 (津エアポートラインほか県内観光関係団体で結成)	30年 11月
	～ 通年
エ 伊賀SGGクラブへの支援	通年
(ア) 上野公園フリーガイド	通年
オ 観光施設解説板外国語併記の促進	通年
カ 海外向けNINJAプロモーションの推進	通年

総括

「いがぐり」やパンフレット・案内地図などを作製し、回遊性を高めるツールとして効果的に発信ができた。またSNSなどインターネットを活用したタイムリーな情報の発信PRを活発に行うことができた。そして地域の素材を使った料理メニューの開発と地場産品の販売促進を図る観光キャンペーンとして「伊賀牛炙り丼キャンペーン」を展開しメニュー開拓や伊賀牛のPRが行えた。海外エージェント、メディアはもとより、海外においても三重県等と協力し商談会・展示会へ出展を行い伊賀の情報発信が行えた。

県内では忍者を活用した取り組みの機運が少しずつ高まり、観光関係団体で「忍者秘密結社」を結成し三重県全体での誘客の実現に向けた取り組みを行った。

3 観光行事の実施とイベントの企画及び支援

(1) 観光行事の実施 (主催事業)

ア 忍者供養回向	伊賀流忍者博物館	30年 4月
イ 伊賀忍者の里 プチ忍者道場修行ちよい食べ歩きの巻		30年 9月
		～ 31年 3月
ウ 伊賀忍者ゆかりの神社仏閣 ご朱印巡り		通年
エ ジートル(スマートフォンアプリ)	【平成30年度で終了】	通年
オ 忍者おみくじ(敢国神社、愛宕神社)		通年

(2) イベントの企画 (主催 共催)

ア 第10回伊賀流手裏剣打選手権大会(予選・本選)	伊賀流忍者博物館ほか	30年 6月
予選：大阪・京都・東京・九州(大分)・愛知・長野・伊賀 計7会場		～ 31年 3月
イ 第5回忍者百人衆 江戸で伊賀/甲賀の気配を探れ(場所：東京都内)		30年 11月
ウ だんじり会館 新春絵馬作製イベント	だんじり会館	31年 1月
エ 「忍者の日」キャンペーン(伊賀流忍者博物館・だんじり会館 日本忍者協議会)		31年 2月
オ 伊賀上野 謎解きミステリー紀行 幻の忍者殺人事件		通年
カ 伊賀流忍術指南道場(場所：敢国神社ほか)		通年
ク 伊賀・津・松阪・鳥羽城郭めぐりスタンプラリー		通年
※伊賀上野・津・松阪・鳥羽・亀山の観光協会で実施。		
ケ 名鉄観光リアル謎解きゲーム「まち探」	名鉄観光サービス㈱ 上野商工会議所 (一社)伊賀上野観光協会	通年
コ 忍者変身処	だんじり会館	通年

(3) イベント支援 (後援 協力)

ア 伊賀上野NINJAフェスタ2018		通年
イ (ア) 忍者道場スタッフ支援		30年 4月
		～ 5月

(イ) 伊賀上野NINJAフェスタ in 上野恩賜公園	伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会	30年 11月
(ウ) 伊賀上野NINJAフェスタ in 天神橋筋	伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会	31年 3月
ウ 「伊賀の里」魅力満載ウォーキング	上野商工会議所	30年 4月
エ さくらをテーマとした絵画・俳句コンテスト	伊賀市さくらの会	30年 4月
オ 国際交流ウォーク	伊賀市国際交流協会	30年 4月
カ 春のお披露目	上野文化美術保存会	30年 4月
キ 第31回青山高原つつじクォーターマラソン	伊賀市	30年 5月
ク 第18回ホテル祭り in 比自岐	上野生涯学習推進会議「上野ホテルの会」	30年 6月
ケ ジャパンシール	ジャパンシール委員会	通年
コ 第41回大山田ふるさと夏まつり	大山田ふるさと夏まつり実行委員会	30年 8月
サ ライトアップイベント お城のまわり	お城の周リライトアップイベント実施委員会	30年 8月
シ 伊賀焼陶器まつり	伊賀焼陶器まつり実行委員会	30年 9月
ス 第35回伊賀上野城薪能	伊賀上野城	30年 9月
セ 伊賀上野NINJAフェスタ2018Autumn～伊賀流忍者修行～ IN SPA SARUBINO	(一社)大山田温泉福祉公社	30年 9月
ソ 伊賀市民祝賀花火大会	伊賀市民祝賀花火大会実行委員会	30年 10月
タ 第4回伊賀市「芭蕉の里」杯親善ゲートボール大会	伊賀市ゲートボール連合会	30年 10月
チ 第72回芭蕉祭	伊賀市・(公財)芭蕉翁顕彰会	30年 10月
ツ 上野天神祭 スタンプラリー	上野文化美術保存会	30年 10月
テ 第26回比自岐コスモスまつり	比自岐コスモスまつり実行委員会	30年 10月
ト 伊賀上野 灯りの城下町	上野商工会議所	30年 10月
ナ 伊賀の歴史を訪ねて「灯りと華のフムナト ACTION VII」	(公財)伊賀市文化都市協会	30年 10月
ニ 伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら	いがぶら実行委員会	30年 10月 ～ 12月
ヌ 第58回菊花展	三重菊花芸術協会	30年 10月 ～ 11月
ネ 忍者トレイルランニングレース2018	(一社)大山田温泉福祉公社 伊賀トレイルランナーズクラブ	30年 11月
ノ 信楽たぬきの日・記念日事業2018	信楽町観光協会	30年 11月
ハ 第384回伊賀越法要祭	伊賀越史跡保存会	30年 11月
ヒ 2018忍者の里伊賀上野シティマラソン	伊賀市	30年 11月
フ イガデハク＝伊賀でデザイン博	(一社)社会をデザインするネットワーク	30年 12月
ヘ 伊賀鉄道 クリスマスコンサート	伊賀鉄道友の会	30年 12月
ホ 忍者フェスティバル2019	愛知県	31年 1月
マ 伊賀上野城下町おひなさん(沖森邸)	伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会	31年 3月

総括

恒例の観光行事のほか首都圏での主催行事やまちづくり団体との共催・協力などの取り組みを行った。また伊賀流手裏剣打選手権大会を通して全国の忍者ゆかりの地域との連携強化を行った。また全国展開の事業に数多く協力・参加し広域的に情報発信やPRイベントを行うことで誘致促進に努めた。

4 観光事業の調査研究及び観光情報の収集・発信

- | | |
|---------------------------------|----|
| (1) 伊賀上野観光インフォメーションセンターにおける案内業務 | 通年 |
| (2) 会員ネットワーク構築による観光情報の収発 | 通年 |
| (3) 委員会の設置 | 通年 |
| ア 企画総務委員会 | |
| イ 広報委員会 | |
| ウ 施設委員会 | |
| エ グリーンツーリズム委員会 | |
| (4) 伊賀地域内の観光振興団体との連携強化 | 通年 |
| (5) 伊賀地域のまちづくり団体との交流 | 通年 |

総括

観光案内業務を中心に窓口、電話対応、また会員からの情報提供や伊賀地域内の観光振興会等との連携により多方面への発信を行った。

5 観光事業従事者の資質向上と地域リーダーの育成

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 上野商工会議所青年部へ職員派遣 | 通年 |
| (2) 学芸員の資格取得 | 通年 |
| (3) 伊賀学検定 | 31年 2月 |

総括

他団体への職員派遣により育成に努めるとともに、伊賀学検定に参画・受験支援を行い、個人の資質向上に努めた。

6 観光客の受入・おもてなしの推進

- | | | |
|-------------------------|-------------|------------------|
| (1) おもてなし啓発事業 | | |
| ア まちかど観光案内所 | 【資料3 12ページ】 | 通年 |
| イ 忍者変身処 | | 通年 |
| ウ モバイルWi-Fiルーターレンタル事業 | | 通年 |
| エ ぱったり床几の設置(3カ年計画の3年目) | | 通年 |
| オ 忍者モニュメントの設置 | | 通年 |
| (2) いがうえの語り部の育成 | | |
| ア 案内 | | |
| (ア) 一般からの要請による案内 | 【資料5 14ページ】 | 通年 |
| (イ) 催事への協力 | | |
| ○芭蕉祭定点案内(菘虫庵・芭蕉翁生家) | | 30年 10月 |
| ○歴史街道観光ボランティア定点案内(俳聖殿前) | | 30年 10月
～ 11月 |
| イ 研修等 | | |
| (ア) 実地研修 | | 通年 |
| (イ) 伊賀学検定 | | 31年 2月 |
| (3) 伊賀SGGクラブへの協力 | | 通年 |
| (4) 伊賀越史跡保存会の育成 | 【平成30年度で終了】 | ※伊賀越資料館休館
通年 |

総括

おもてなし啓発事業や観光客の受け入れ態勢の整備を継続して実施した。「いがうえの語り部」「伊賀SGGクラブ」では、実地研修や他団体との研修会を開催し、語り部の育成やスキル向上、観光客の受け入れに努めていただきその活動のサポートを行った。

7 地域文化・天然資源の継承と文化的地域特性の創造

- | | | |
|---|--|-------------------------------|
| (1) 伊賀流忍者博物館の施設機能の充実 | | |
| ア 学芸員の育成 | | 通年 |
| イ 忍術関連資料の充実 | | 通年 |
| ウ 特別展スペースの確保と備品の購入 | | 通年 |
| エ 施設整備 (忍者伝承館庇修繕工事) | | 31年 1月 15日
～ (平成31年4月工事完了) |
| (2) 三重大学 伊賀連携フィールド 忍者文化協議会 | | 通年 |
| ア 国際忍者研究センター | | 通年 |
| イ 国際忍者学会 | | 30年 9月 7日 |
| (3) 児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設開放事業 | | 通年 |
| (4) 伊賀学検定実施委員会に参画 | | 通年 |
| (5) 各種団体の協力 | | 通年 |
| 【視察受入】・津市商工会議所 ・小田原市観光協会 ・桑名市商工会議所 | | |
| 【職場体験受入】・緑ヶ丘中学校 ・上野南中学校 ・大山田中学校 ・白鳳高等学校 ・名張高等学校 ・阿山中学校(教職員) | | |
| 【教育関係受入】・跡見学園 ・お茶の水女子大学 | | |

総括

伊賀流忍者博物館の充実や三重大学伊賀連携フィールドへの協力を行った。市内の小中高生や教職員の職場体験を積極的に受け入れ文化・資源の継承を進めた。伊賀上野の文化、歴史や現在の協会の取り組みなどを紹介する視察・研修の受け入れを行った。

8 地場産品の商品開発と販売促進

- | | | |
|----------------------|-------------|----|
| (1) だんじり会館（地場産買物処） | 【資料6 15ページ】 | 通年 |
| (2) 伊賀流忍者博物館（NINJA坊） | 【資料6 15ページ】 | 通年 |

総括

各施設の特性に応じた販売方法や環境を整え、地場産品の各個店のアンテナショップ的な役割を果たしている。

9 観光関連機関との連携強化

- | | |
|--------------|----|
| (1) 公益団体との連携 | 通年 |
|--------------|----|

ア 三重県

- (ア) 三重県外国人観光客誘致促進協議会（稲垣専務理事が副委員長）
- (イ) 三重県東京事務所（三重美し会）・関西事務所ほか
- (ロ) 世界の人びとを呼び込む観光協創プロジェクト（稲垣専務理事が委員）
- (ハ) リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会
- (ニ) 三重県営業本部地域別懇談会 ほか

イ 伊賀市

- (ア) 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会
- (イ) 伊賀市国際交流協会
- (ロ) 伊賀市さくらの会
- (ハ) 伊賀鉄道活性化協議会
- (ニ) 伊賀市中心市街地活性化協議会
- (ホ) JR関西本線電化を進める会
- (ヘ) 伊賀ブランド推進協議会
- (ロ) 伊賀市地域公共交通交通活性化再生協議会
- (ケ) いがぶら実行委員会
- (コ) うえのまちまちづくり協議会
- (セ) 伊賀市の賑わい創出検討協議会
- (ソ) 伊賀市史編さん委員会
- (タ) 伊賀上野シティマラソン実行委員会
- (チ) 伊賀山城南定住自立圏共生ビジョン策定委員会
- (リ) お城の周りライトアップ実施委員会
- (ニ) 伊賀市総合計画審議会（宮寄副会長が委員）
- (フ) 「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議 ほか

ウ 伊賀市教育委員会

- (ア) 児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設開放事業 ほか

エ 公益社団法人日本観光振興協会

オ 公益社団法人三重県観光連盟

- (ア) 会長が理事職
- (イ) 事務局員が企画宣伝委員会委員
- (ロ) おもてなし三重ボランティアガイド連絡協議会

カ 全国京都会議（廣澤会長が監事）

キ 三重県博物館協会

ク 上野商工会議所

- (ア) 伊賀市中心市街地活性化協議会
- (イ) 株式会社まちづくり伊賀上野
- (ロ) 伊賀学検定実施委員会
- (ハ) 上野天神祭振興会
- (ニ) 市民夏のにぎわいフェスタ2018実施委員会
- (ホ) 観光部会・NAVIGA
- (ヘ) 外国人にやさしいまちづくり会議 ほか
- (ロ) 南庁舎跡の利活用に関する検討会

ケ 公益財団法人芭蕉翁顕彰会（廣澤会長が評議員・菊野副会長が芭蕉翁顕彰会副会長）

コ 公益財団法人伊賀文化産業協会

- (ア) 専務理事が評議員職
- (イ) 上野城薪能実施委員会

サ 一般社団法人大山田温泉福祉公社（小坂副会長が理事）

シ 三重大学

- (ア) 三重大学伊賀連携フィールド ほか
（国際忍者研究センター・国際忍者学会）

ス 全国グリーンツーリズム協議会

- セ 名阪国道及び国道25号線整備促進期成同盟会
- ソ 伊賀地区職域防犯連合会
- タ 伊賀市防火協会
- チ テロ対策伊賀パートナーシップ ほか

- 広域連携
- チ 甲賀市・甲賀市観光協会・信楽町観光協会
 - ツ 伊賀流忍者観光推進協議会
(伊賀市・名張市・伊賀上野観光協会・名張市観光協会・三重県・三重大学伊賀連携フィールド)
 - テ 上野観光連盟(東京都台東区)
 - ト 日本忍者協議会
 - ナ 中伊勢温泉郷観光推進協議会
 - ニ 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会(会長が監事)
(伊賀市・甲賀市・伊賀市教育委員会・甲賀市教育委員会
・伊賀上野観光協会・甲賀市観光協会・信楽町観光協会)
 - ヌ 忍者秘密結社 ほか

(2) 観光エージェントとの連携

- ア 観光券取扱業務の推進 通年
- イ JTB等の誘客促進会に入会

総括

各機関の運営や事業に参画し観光協会の特性を生かした協力を行い連携強化を図った。日本遺産の認定を受けた「忍びの里伊賀甲賀忍者協議会」に参画・協力している。

10 施設運営および観光施設の指定管理業務と観光案内所業務の受託

- (1) 伊賀流忍者博物館 【資料2 11ページ】 【資料6 15ページ】 通年
 - ア 案内業務の一部を阿修羅に業務委託
- (2) 伊賀伝統伝承館 通年
- (3) だんじり会館 通年
- (4) 伊賀市観光案内所(ハイトピア1F) 通年
- (5) 上野公園観光案内所

総括

伊賀流忍者博物館を自主運営し、その収益で伊賀上野観光協会の観光振興事業を行っている。近年は阿修羅に業務の一部を委託しサービス面の向上を図っている。また、伊賀伝統伝承館では伊賀の伝統的工芸品及び伊賀市の観光振興を図る目的で開設し、伊賀くみひもの販売と体験メニューの人気のスポットに定着しつつある。だんじり会館については、効率的な施設管理を行い、観光協会の事業と一体的な観光推進事業を行うよう努めた。

11 支部の運営

- (1) 鳥ヶ原支部 歴史街道ウォーク 通年
- (2) 阿山支部 魅力発信イベント
- (3) 伊賀支部 ニューツーリズム、日置弾正弓道まつり
- (4) 大山田支部 観光探索観光モデル、伊賀街道祇園祭体験、忍者の里めぐり
- (5) 青山支部 青山高原山開き、青山観光情報
- (6) 協会統合 ホームページ統合、忍者曼荼羅図製作、観光ガイドブック(ボランティアガイド向)

総括

支部の運営を行い、各地域の現地情報の収集と連携強化を図り地域の特性を活かした観光振興事業を行った。また、HPの統合管理や広域周遊に向けた統合事業を実施した。

12 日本版DMO法人の認定とその事業の推進

- (1) 認定に向けた数値データの取得を実施 (スマホアンケート調査の実施)
- (2) 観光庁ほか支援メニューの取り組み
 - ア 多言語解説整備支援事業
 - イ JNTO観光案内所認定 ほか
- (3) DMO推進・合意形成の取り組み
 - ア DMO推進会議 【計13回】 通年
 - イ DMO情報共有懇談会 ほか 30年 9月 6日

13 創立60周年記念事業

- (1) ゴルフコンペ 30年 12月 5日
- (2) 伊賀流手裏剣打選手権大会 30年 6月
~ 31年 3月
- (3) 記念式典・祝賀会 31年 4月 15日
- (4) 記念誌 (500冊作製) 31年 4月 15日

14 会議

(1) 定時社員総会 ア 平成29年度決算		30年 6月 29日
(2) 臨時総会		なし
(3) 理事会 ア 平成29年度決算 イ 平成31年度予算		30年 6月 12日 31年 3月 27日
(4) 臨時理事会 ア 臨時理事会		30年 8月 17日
(5) 監事会 ア 平成30年度決算		30年 6月 4日
(5) 正副会長会議 ア 正副会長会議 イ 正副会長会議 ウ 正副会長会議 エ 正副会長会議		30年 6月 7日 30年 11月 15日 30年 12月 13日 31年 1月 29日
(6) 委員会 ア 企画総務委員会 ※各イベントに参加（随時） イ 広報委員会 ※いがぐり編集会議にて参加 ウ 施設委員会 ※施設内商品取り扱い審議（随時） エ グリーンツーリズム委員会		通年 通年 通年 通年
(7) 会長・正副支部長会議		30年 8月 27日 31年 3月 11日
(8) いがぐり編集会議		通年
(9) 経営会議	【計13回】	通年
(10) その他会議		通年

総括

定時社員総会をはじめ各種会議を開催し、組織の方向性や事業の検討を適切に協議・審議した。また観光庁推進の「日本版DMO」認定に向けた内容を推進する会議も継続して行っている。